

南三陸町 × 生コン協組 × 日大工学部

橋の保全へ 産学官連携

南三陸町が管理する橋の 道路法は2014年から 長寿命化に向け、産学官が 連携して老朽化対策に乗り 出した。気仙沼地区生コン 協組が協力を、劣化の 診断結果は4段階に分か れ、町内の橋はレベル1(健 全)19本、レベル2(予防 保全)81本、レベル3(早 減する。



入谷大橋の欄干のペンキを塗り替える参加者

「右肩上がりの経済では 橋が古くなるなど新しく造れ ば良かったが、この考えで は将来的に町の財政は回ら ない」と町建設課の三浦孝 課長。その上で橋の寿命が 延びれば、架け替えをしな くて済む場合もある」と維 持管理費の軽減に伴う町財 政への好影響を期待する。

協組組合の高野剛理事長 は「今後は住民にも協力を 呼び掛け、年々3本の橋 のメンテナンスをしたい」と 話している。

協組組合の高野剛理事長 は「今後は住民にも協力を 呼び掛け、年々3本の橋 のメンテナンスをしたい」と 話している。

協組組合の高野剛理事長 は「今後は住民にも協力を 呼び掛け、年々3本の橋 のメンテナンスをしたい」と 話している。

期措置)2本。レベル4(緊 急措置)は無かった。

レベル3の橋は架け替え や補修を終えたが、劣化を 食い止める必要がある。レベ ル2の橋はほとんど手が付 けられていない。人員的な 問題に加え、日常的な維持 管理のノウハウ不足もある ためだ。

初回の活動は5日、レベ ル2の入谷大橋で実施。協 同組合加盟企業の従業員や 町職員、大学生の約30人が 参加し、建設から45年が過 ぎた橋の欄干のペンキを塗 り替えたり、排水溝に詰ま った土砂を取り除いたりし た。大学考案の点検シート を使い、路面のひび割れや 地覆の欠損を調べた。

日大工学部の岩城一郎教 授は「地域の小さな橋は住 民や地元業者が少し汗をか けば、老朽化を防げる。自 治体が公共事業にかける費 用削減にもつながる」と強 調する。

全45路線の営業収支は約 1.5兆円。赤字となったのは 34億円。赤字となった。赤 字幅が最も大きかったのは 四丁目線、東部工場団地線 の不採算上位2路線の係 数が改善したのは37路 線が改善した。営業 係数が改善した。営業 係数が改善した。営業 係数が改善した。営業

劣化の「兆候」で補修 財政負担の軽減期待

気仙沼市 ぼる秋サケ 日、始まり、並みの2、 旬ごろまで 漁は午前 6時から 10時45分 まで。サケは 体当たりで 10匹ほど 取った。雌 取した。

旬の秋サケ 次々と 気仙沼・大川 定置網漁

全45路線の営業収支は約 1.5兆円。赤字となった。赤 字幅が最も大きかったのは 四丁目線、東部工場団地線 の不採算上位2路線の係 数が改善した。営業 係数が改善した。営業 係数が改善した。営業